

第3章 分野別計画

産業 労働 プロモーション

- ・農業・林業・畜産業
- ・商業・工業
- ・雇用・労働
- ・移住定住
- ・プロモーション・観光



産業・労働・プロモーション

目指す姿

飛騨高山の風土や有形無形の財産を活かした、活力と働きがいのある暮らしの実現

目指す姿を実現するための方向性

- 農林畜産業等を持続可能な産業とするため、多様な人材の確保や育成、生産基盤の整備、関係者が連携した販路拡大が求められています。
- 多様化するニーズや時代の変化に柔軟に対応しながら既存産業の稼ぐ力の強化と市内資金循環の促進による経済の好循環の実現が求められています。
- 市内で製造、提供される産品やサービスなどが市民の誇りや自信となり、国内外にも広く支持されるよう付加価値の強化が求められています。
- 事業者の有する販路や財産、技術、精神を次の世代へ引き継ぐとともに、地域産業の持続的な成長が求められています。
- 多様な人材を確保・育成し、誰もが能力を活かしながら働きがいを持って働くことができる環境の構築や所得の向上が求められています。

施策分野別の課題と方向性

農業・林業・畜産業

- 事業継承のための取り組みや、特色ある地域産品、そのための基盤となる環境整備など、生産地づくりが求められています。
⇒ 特色を活かした生産地づくり
- 企業や組合、生産者、あらゆる関係者が一丸となった販路の拡大が求められています。
⇒ 関係者が一丸となった販路拡大
- 生産者が安心して生産活動を行うための環境を整備する必要があります。
⇒ 安心して生業を営むことができる環境整備



商業・工業

- 域外市場産業の高付加価値化や競争力の強化が求められています。
⇒域外市場産業の成長促進
- 時代やニーズの変化に柔軟に対応した企業経営や長年にわたり培われた技術の継承、円滑な事業承継が求められています。
⇒事業継続力の強化と技術の継承
- 新技術や新生産方式の導入促進、生産性の向上が求められています。
⇒イノベーションの促進と生産性の向上
- 魅力ある商業空間の形成と地域の拠点づくりが求められています。
⇒地域の特色や資源の活用による魅力ある商業空間の形成と地域の拠点づくり

雇用・労働

- 誰もが働きやすい、働きがいのある労働環境の整備が求められています。
⇒多様な人材が働きやすい、働きがいのある労働環境の整備
- 多様な雇用機会の創出と地元企業への就労促進が求められています。
⇒多様な雇用機会の創出と地域の魅力の発信などによる地元企業への就労促進



移住定住

- 移住者が集まり、住み続けられる環境を整備する必要があります。
⇒移住者が定住しやすい環境の整備
- 移住者を受け入れ、住民として共に支え合う意識を醸成する必要があります。
⇒移住者への理解の促進

プロモーション・観光

- 郷土に対する誇りと先人たちの築き上げた有形無形の財産の効果的な発信が求められています。
⇒郷土に対する誇りと飛騨高山ブランドの効果的な発信
- 観光客や飛騨高山と関係のある人々との関係を活かし、地域の課題解決を図る必要があります。
⇒観光を活かした持続可能な地域づくりの推進

重点的にすすめる施策

農業・林業・畜産業

特色を活かした生産地づくり

- 新たな農業技術導入などの促進により、生産性を高め、地域特性を活かした魅力的な農業生産地づくりをすすめます。
- 幅広い世代で農業への関心を高め、多様な担い手や働き手の確保、遊休農地の解消などにより、持続可能な農業をすすめます。
- 家畜改良事業の推進や耕畜連携により、畜産業者が安心して経営できる畜産生産地づくりをすすめます。
- 繁殖牛舎等の整備や自立経営への支援などにより、新たな担い手の確保と定着を図ります。
- 地籍調査や森林推定地番図の作成などにより、森林所有者の特定を図り、個人所有の森林整備を加速させます。
- 生産性の高い森林のゾーニングなど、戦略的かつ計画的な森林整備により、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を図ります。
- 移住者や県立森林文化アカデミーの学生への支援により、新たな担い手の確保と定着を図ります。

関係者が一丸となった販路拡大

- 地方卸売市場の活用などにより、農業者と観光事業者などとの連携による地産地消や農産物の販路拡大をすすめます。
- 全国和牛能力共進会への出品などにより、関係機関と連携し飛騨牛の高品質化及び販路拡大をすすめます。
- 林業や木材産業などとの連携拡大により、スギやヒノキなどの針葉樹だけでなく広葉樹の販路拡大をすすめます。



■ 地方卸売市場

安心して生業を営むことができる環境整備

- 優良農地の確保や農業用施設の長寿命化、鳥獣による被害防止の推進により、安心して農業を営むための環境整備を図ります。
- 家畜診療技術の高度化により、効果的で効率的な診療体制の強化と、安心して畜産業を営むための環境整備を図ります。

商業・工業

域外市場産業の成長促進

- 商品・サービスの高付加価値化やマーケティングの強化、特産品の販路拡大などの促進により、域外市場産業の成長を図ります。

事業継続力の強化と技術の継承

- 中小・小規模事業者の経営基盤の強化や事業承継、市内への本社機能移転などの促進により、事業の継続と産業構造の多様化を図ります。

イノベーションの促進と生産性の向上

- DXの推進や最新技術の活用促進、起業・創業しやすい環境づくりなどにより、市内産業のイノベーションを誘発するとともに生産性の向上を図ります。

地域の特色や資源の活用による魅力ある商業空間の形成と地域の拠点づくり

- 地域の特色や資源の活用などにより、魅力ある商業空間や地域の拠点づくりをすすめます。

雇用・労働

多様な人材が働きやすい、
働きがいのある労働環境の整備

- 多様な人材の確保・育成により、働きがいのある労働環境の整備を促進します。

多様な雇用機会の創出と地域の魅力の発信
などによる地元企業への就労促進

- 地域の魅力を市内外に発信するなど、地元企業との連携により、地元就職と地域への定着の促進を図ります。



■ こどもの職業体験

移住定住

移住者が定住しやすい環境の整備

- 市内で充実して暮らす若者等の姿、まちや職場の魅力などの情報の発信強化により、地域の成長と発展に寄与するU・I・ターン者の確保を図ります。
- 移住する人や移住した人の想いに寄り添った暮らしへの支援により、暮らしたい、戻ってきたいと思えるまちづくりをすすめます。

移住者への理解の促進

- 民間事業者と連携した移住者と地域住民との交流イベントなどにより、互いに理解し合い、協力して豊かな地域社会を築いていく環境づくりを促進します。

プロモーション・観光

郷土に対する誇りと飛騨高山ブランドの効果的な発信

- 飛騨高山の有する様々な魅力や価値の再認識と磨き上げにより、生まれ育った地域への愛着と郷土への誇りの醸成を図ります。
- 多様な情報媒体などを活用した情報発信により、飛騨高山ブランドの認知度の向上を図ります。
- ふるさと納税の返礼品として地場産品や体験型メニューなどを提供することにより、地域内産業の活性化を促進します。

観光を活かした持続可能な地域づくりの推進

- 観光を活用した地域資源の保護・活用や人材育成、郷土愛の醸成により、選ばれ続ける観光地づくりをすすめます。
- 観光客の安全・安心・快適な受入れ体制の整備により、滞在環境の充実を図ります。
- 観光を活用して産業・地域・人をつなぎ、相互連携や役割分担の明確化により、住んでよし、訪れてよしの持続可能な地域づくりをすすめます。



■ 陣屋前夜市

幸福実感指標

指標名	指標の説明	単位	現状値 (2024)	中間目標 (2029)	目標 (2034)
市民満足度 [農業・林業・畜産業]	「地元の農産物や木材が広く消費され、農畜産業や林業が活性化している」と感じている市民の割合	%	49.0	↗	↗
市民満足度 [経済]	「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環し、活性化している」と感じている市民の割合	%	55.1	↗	↗
市民満足度 [雇用・労働]	「若者や女性、高齢者、障がい者、外国人など、働く人が望む就労の場が確保されている」と感じている市民の割合	%	31.0	↗	↗
市民満足度 [移住定住]	「移住を希望される方を受け入れる環境が整っている」と感じている市民の割合	%	36.3	↗	↗
市民満足度 [観光]	「観光客の来訪が、市民生活の向上につながっている」と感じている市民の割合	%	50.5	↗	↗

主な関連計画

産業振興計画、農業振興地域整備計画、男女共同参画基本計画、
観光を活用した持続可能な地域づくり方針